

研究機関：広島大学

研究課題名	網膜硝子体手術の治療成績の検討
研究責任者名	広島大学病院眼科 医科診療医 湯浅 勇生
研究期間	2020年9月23日(承認日) ~ 2026年12月31日
対象者	2015年1月から2025年12月の間に、広島大学病院眼科で網膜硝子体手術を受けられた患者さん。
意義・目的	糖尿病、眼内炎、硝子体出血、裂孔原性網膜剥離などの網膜硝子体疾患についてデータ収集、解析を行い、手術成績や危険因子を明らかにし、今後の治療方針の発展に生かすためこの研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は視力、眼圧、年齢、性別、眼側、自覚症状から手術までの日数、内眼手術歴回数、 <u>黄斑剥離、術前増殖硝子体網膜症、裂孔の数、巨大裂孔、網膜変性巣、剥離範囲、術前</u>
<p>水晶体、眼軸、術前VH、術式、タンポナーデ物質、輪状締結、排液穴、内視鏡、手術時間、パーフルオロカーボン、医原性裂孔、クライオ使用の有無、術後合併症です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>	
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 眼科 湯浅 勇生
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形
〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5247 広島大学病院 眼科 湯浅 勇生	